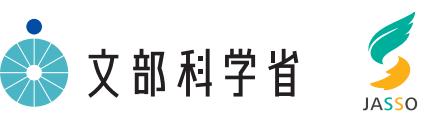


TOBITATE! NEXT JAPAN

トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム



【支援企業・団体一覧】



朝日新聞社 / アシックス / アーレー / 横畠産業 / 岩谷産業 / 内田洋行 / オークマ / 大阪ガス / 大阪シリージン印刷 / 大塚オーミク森業 / オムロン / カシオ計算機 / 兼松 / 河合塾 / 紀伊國屋書店 / 共立製薬 / クリーク・アンド・リバー社 / グローリー / 興和 / サクラグローバルホールディングス / サッポロホールディングス / CBC / ジュエティーピー / 島村楽器 / 新日本有限責任監査法人 / スズケン / 駿台国際教育センター / セラフ / ソニー / 太平洋セメント / 宝ホールディングス / 竹中工務店 / 関電社 / 瑞理 / TSUCHIYA / DIC / TDK / 東海旅客鉄道 / 東京急行電鉄 / 東武鉄道 / 東武トップツアーズ / 長瀬産業 / 西日本旅客鉄道 / 日油 / 日鉄住金物産 / 日本カルミック / 日本船媒 / 日本製粉 / 日本アイビーエム / 日本アライク / 日本板硝子 / 日本経済新聞社 / 日本女性エグゼクティブ協会 / 日本ユニシス / ハウス食品グループ本社 / バブリックビジネスジャパン / 阪急電鉄 / バンドー化学 / 阪和興業 / BNPパリバグループ / ピジョン / 日立造船 / フジテック / 牧野フライス製作所 / ミズノ / Mizkan / 八木通商 / ヤクルト本社 / ユニリーバ・ジャパン / ホールディングス / ライオン / リンク・インターナショナル / レンゴー / ワコールホールディングス(平成29年5月31日現在)



はじめに

社会や経済のグローバル化が進む中、世界で活躍できる人材の育成が急務であることから、2013年6月に閣議決定された「日本再興戦略～JAPAN is BACK」等において、政府は2020年までに海外留学者数を倍増(大学生:6万人→12万人、高校生:3万人→6万人)させることを目標に掲げました。その達成に向けて、文部科学省は、2013年10月にひとつのキャンペーンを開始しました。それが、意欲と能力のあるすべての日本の若者が、海外留学に一歩踏み出す機運をつくる留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」です。

政府による奨学金等の充実や学校の体制整備といった取り組みだけでなく、民間企業からのご支援やご寄附により官民協働で「グローバル人材育成コミュニティ」を形成し、グローバル人材を育成していくこうという、前例のない取り組みです。

さらに2014年からは「トビタテ！留学JAPAN」のメイン施策である海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」がスタートしました。2020年までに200億円を目標に寄附を募り、約1万人の高校生・大学生を派遣留学生として海外に送り出す計画です。

すでに約3,000人の大学生、約1,300人の高校生を送り出しているこの制度が、従来の海外留学支援制度と異なる点は大きく2つ。

ひとつは従来のアカデミックな単位取得だけでなく、インターンシップやボランティアなど、産業界の要請等を踏まえた実践的な留学を支援していること。もうひとつが留学生同士の交流に加えて、企業とのコラボレーションや地域活性化に向けたネットワークづくりにも力を入れていることです。

今回、3回目となる留学成果報告会では、「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」による留学を終えた派遣留学生のうち、161名が参加。報告会に参集いただいた支援企業・団体の方々、大学・高校等の関係者の前で、海外での経験を経てグローバルリーダーへの第一歩を踏み出した自らの成長を報告しました。また、日本の産業界の将来を担う人材育成を目指すという本プログラムの趣旨に沿って、全21名の審査員を支援企業・団体の方に務めていただくことで、官民協働のプロジェクトにふさわしい報告会を開催することができました。

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラムが派遣留学生に求める3つの役割

- 1 世界を舞台に活躍する、グローバルリーダーを目指す。
- 2 留学中には日本のアンバサダー（大使）として、日本の良さを世界に発信する。
- 3 帰国後、留学のエヴァンジェリスト（伝道師）として、多くの人に留学の魅力を伝え、留学を目指す若者の増加に貢献する。

多彩な人材育成を目指す留学コース

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラムでは、産業界の要請等を踏まえた6つの留学コースを設定。産業界の将来を担う人材の育成を目指します。

理系、複合・融合系人材コース

特に環境・エネルギー、ライフサイエンス、情報通信技術、農林水産、ものづくりの分野で、学習や研究、インターンシップ、フィールドワーク等の留学を支援します。

世界トップレベル大学等コース

世界大学ランキングで100位以内に位置する大学や、同等の教育レベルにある研究機関等への留学を支援します。

新興国コース

今後、経済成長が期待される国や地域でのビジネスを視野に入れた若者を対象に、新興国などへの留学を支援します。

多様性人材コース

スポーツ、芸術、政治、行政、教育、メディア、観光、ファッション、日本文化（古典芸能、和食等）など、様々な分野や活動において、今後の活躍が期待できる人材の留学を支援します。

地域人材コース（2015年創設）

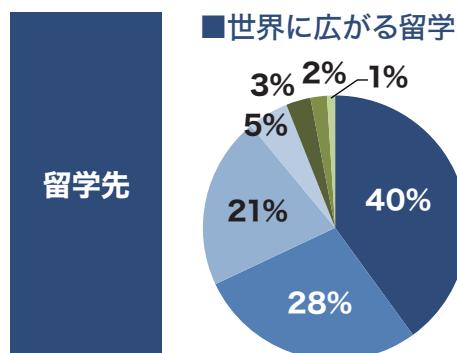
地域の発展に貢献することを希望する学生を対象とした留学コースです。

高校生コース（2015年創設）

「アカデミック分野」「プロフェッショナル分野」「スポーツ・芸術分野」「国際ボランティア分野」での1年以内の留学を支援します。

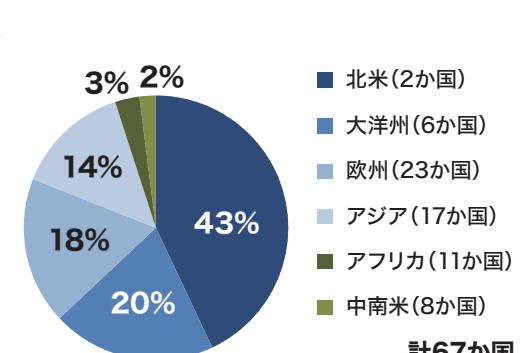
大学生合格者（1期～7期計：3,048人）

■世界に広がる留学先。大学生は100か国以上へ。



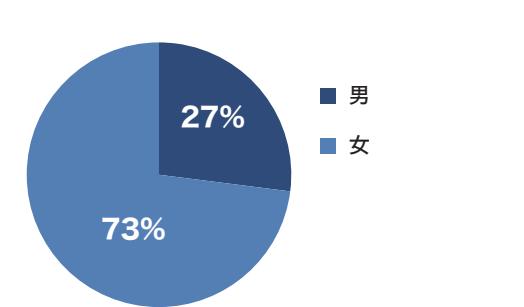
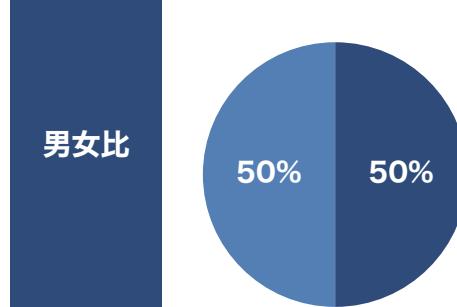
高校生合格者（1期～3期計：1,315人）

■世界に広がる留学先。大学生は100か国以上へ。



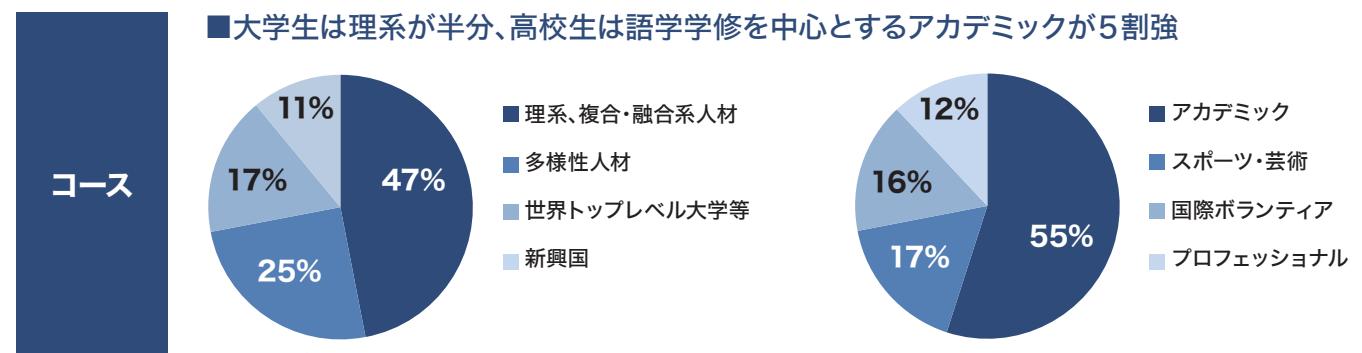
男女比

■大学生は男女比が半々、高校生は女子が7割



大学生合格者（1期～7期計：3,048人）

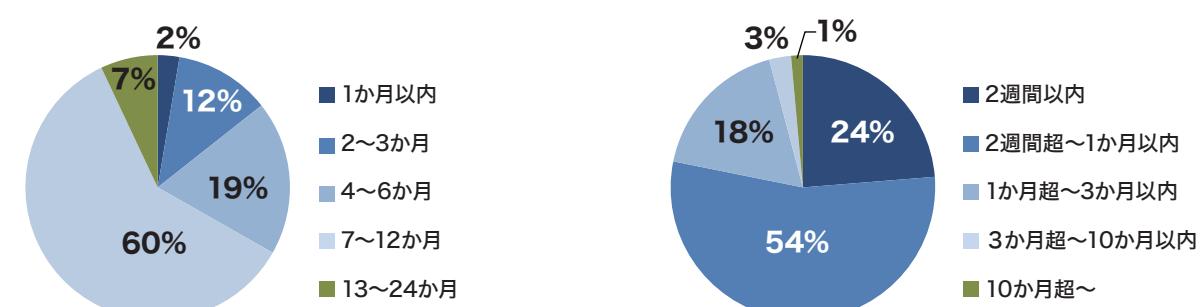
■大学生は理系が半分、高校生は語学学修を中心とするアカデミックが5割強



※第3期以降に募集を開始した地域人材コース306人を除く2,742人

留学期間

■大学生は7～12か月が6割、高校生は1か月以内の短期留学が約8割



留学成果報告会ドキュメント



開会式

9:30

会場をご提供いただいた東洋大学・竹村学長と、主催者を代表して船橋プロジェクトディレクターより、開会挨拶が行われました。



東洋大学
学長
竹村 牧男氏



文部科学省 官民協働海外留学創出プロジェクト
「トビタテ!留学JAPAN」プロジェクトディレクター
船橋 力氏

東洋大学にお越しいただき、心より歓迎申し上げます。留学を経験した皆さんは、異文化に生きる人々との交流を経て大きく成長し、多くの成果を上げてきたことだと思います。トビタテという言葉は、自分の殻を破って、平和で公正で豊かな地球社会を構築するために活躍できる、そんな未来の自己に「飛躍する」という意味だと思います。これからも益々精進されて、国際社会へ羽ばたいていってください。

2020年に向け、官民オールジャパンで意欲ある若者を海外に送り出し、留学へ行くのは当たり前という文化をつくろうと「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」が発足しました。始まって3年半、官民間わず多大な支援をいただき、ようやく土台ができてきました。帰国した学生には、リーダーを目指し、日本について発信し、留学の価値を伝えることを期待しています。ご来場者の皆様には、多様な成果発表を楽しんでいただき、フィードバックも頂けたらと思います。



プレゼンテーション

前半 10:10 / 後半 11:45

161名の派遣留学生が、9つの会場に分かれて留学で得た成果をプレゼンテーション。1人5分という短い時間の中で、現地での活動内容はもちろん、挫折を乗り越えた経験、現地の方との交流、新しく何かに挑戦したことなど、様々なエピソードが語されました。コースやテーマによっては立ち見が出る発表時間もあり、また、支援企業の審査員からは積極的な質問や今後へのアドバイスが飛び交う、熱い発表の場となりました。



ポスターセッション

前半 13:20 / 後半 14:20

プレゼンテーションの後は、質疑応答を兼ねたポスターセッションが行われ、留学生たちが、支援企業の方々や他の派遣留学生からの質問に一つ一つ丁寧に答えていました。支援企業の方からは「派遣留学生と直接話することで、人となりを知ることができたのは良かった」と好評。また、派遣留学生自身も会場を回りながら隣合う派遣留学生に声をかけ、「どんなことを学んだの?」「私の行った国はこうだったよ」「それってこういう見方もあって面白いね」と意見を交わし、更なる自身の成長に繋げようとしている姿が見受けられました。



代表派遣留学生プレゼンテーション

15:45

■代表派遣留学生

氏名	所属	留学先
桐本 淳平	日本大学	フランス
佐久間 洋司	大阪大学	カナダ／アメリカ
正田 智樹	東京工業大学大学院	イタリア
若山 順平	九州大学	アメリカ
関口 由実	一橋大学卒	カンボジア
立原 南美	津田塾大学	イギリス／ウガンダ／ミャンマー
大野 雛子	東洋大学	フィリピン
北原 春華	宮崎大学	台湾
鎌田 あみ	中村学園女子高等学校	カナダ



表彰式～閉会式

17:15

最優秀賞は、パリ留学中に日本文化を発信するギャラリーでマーケティング業務を行い、実家でもある輪島塗「輪島キリモト」とのプロジェクトで商品開発にも取り組んだ桐本淳平さん（日本大学／多様性人材コース）が受賞。優秀賞は、トロント大学で人工知能分野における深層学習の最新の理論と産業界への応用の最先端を学んだ佐久間洋司さん（大阪大学／理系、複合・融合系人材コース）が受賞しました。各賞の発表の後には、ご支援をいただいている企業・団体を代表して東京エレクトロン 取締役常務執行役員 長久保様より、成果発表への温かいご講評と、今後のトビタテ!留学JAPANへの期待を込めた言葉が述べられました。

閉会式では、林芳正文部科学大臣、宮川典子文部科学大臣政務官より、会場をご提供いただいた東洋大学や支援企業・団体への感謝の意とともに、派遣留学生へ更なる活躍を期待するメッセージが贈られ、第3回留学成果報告会は幕を閉じました。



文部科学大臣
林 芳正氏



文部科学大臣政務官
宮川 典子氏

会場をご提供いただいた東洋大学および、支援企業の皆様に御礼申し上げます。私自身も大学卒業後、就職してすぐに研修で世界各国を回り、その経験が政治を志すきっかけとなりました。私の地元長州では、かつて松下村塾に若者が集まり、明治時代の基礎を築く人材が出てきたように、今日のプレゼンテーションを聞いて同じことが起きていると感じ、大変嬉しく思います。今後も、仲間や先輩との繋がりを大事にして、皆さんの方で日本を変えてください。

教師時代に、若者はビッグマウスであれと言い続けてきました。現状できないことをその先もできないと思つてしまつたら、物事に進化はありません。誰も信じてくれなくとも、自分が信じていればいい。「できない」という大人のことは信じなくていいのだと、学生の皆さんは心に刻んでください。今日は、自分の個性を発揮する力を持った若者がいることに感激しました。多くの支援企業の皆様にも、未来の宝である若者に投資をしていただきたいと思います。

第3回留学成果報告会 受賞派遣留学生

支援企業、団体のご助力によって飛び立った派遣留学生は、現地での新たな気づきや出会いを通じて、グローバルリーダーへの第一歩を踏み出しました。この報告会では、そんな彼らの経験や想いを凝縮した留学成果が発表されました。特に大きな成長が見られた派遣留学生には、最優秀賞をはじめ各賞が授与されました。

審査員

産業界の要請等に応えられる人材育成に資するため、全21名の審査員はすべて支援企業・団体の方に務めていただきました。

特別審査員 東京エレクトロン
豊田通商
ベネッセコーポレーション

審査員 アルー
河合塾
公文教育研究会
住友林業
ソフトバンク
東芝
豊田通商
トラストバンク
ニコン
日本アイ・ビー・エム
日本アイ・ビー・エム システムズ・エンジニアリング
富士通
ベネッセコーポレーション
三越伊勢丹ホールディングス
LIXIL
リクルートマーケティングパートナーズ
レオパレス21
早稲田アカデミー

取締役常務執行役員
代表取締役副社長
学校カンパニー大学・社会人事業本部本部長

取締役
教育イノベーション本部
社長室・渉外担当リーダー
理事 人事部
人事本部 採用企画部 採用推進課 課長
人事・総務部 人財採用センター
人事総務部
ガバメントクラウドファンディング災害支援グループ グループリーダー
人事・総務本部人事部人事課第三係
社会貢献 担当部長

ISE、テクニカルソリューション エグゼクティブITスペシャリスト
人材採用センター
高大接続課

敬称略(50音順)

長久保 達也
山際 邦明
藤井 雅徳

池田 祐輔
松井 和香子
鳥居 健介
武藤 英太
小山 亮
三浦 千穂
関 駿輔
浪越 達夫
梅本 亜起
塚本 亜紀
白井 徹哉
高島 潤紀
名達 健介
牧 美奈子
本多 宏江
林 知里
山本 諭
関 俊彦

受賞派遣留学生の紹介



最優秀賞

パリから「輪島塗」を世界へ発信

多様性人材コース

留学先 フランス
留学先機関 株式会社丸若屋



桐本 混平

きりもと こうへい
日本大学
商学部

私は「パリから輪島塗を世界へ。日本の地方に活力を。」というテーマのもと、2016年4月から2017年3月までの1年間、フランスのパリに留学しました。活動の軸は、輪島塗を江戸時代から製造している家業「輪島キリモト」のフランスでの販路開拓でした。具体的な活動内容は大きく2つ。1つ目は、株式会社丸若屋が運営する、日本の工芸品を取り扱うギャラリー「NAKANIWA」の現地マネジメントです。「輪島キリモト」の企画販売では、現地でフランス人の生の声を生かし、素材が持つ本質的価値やモノが生まれる背景の伝え方を工夫したことで、月間最高売上を達成しました。2つ目は「輪島キリモト」のフランス向け商品の開発です。フランスの文化と市場に柔軟に対応することを意識し、フランス人のデザイナー兼眼鏡職人とともに、木と漆の眼鏡の商品開発に取り組みました。日本の伝統技術の価値を再認識し、「輪島キリモト」にとって新たな挑戦のきっかけをつくることができました。



勤務するギャラリーでの交流

受賞の感想

トビタテのおかげで夢を見失わぬことの大切さに気付き、また飛躍することができました。留学中も今も肩に力が入り不安との鬱いがありますが、これでいい、悩む暇はない、突き進もう、と大きな自信をいただけました。この貴重な機会と経験を後輩にも引き継ぎ、グローバルな人材を目指して生きていきたいです。



優秀賞

人工知能をめぐる冒険；深層学習の最先端を学ぶ

理系、複合・融合系人材コース

留学先 カナダ／アメリカ
留学先機関 トロント大学／Panasonic Silicon Valley Lab



佐久間 洋司
さくま ひろし
大阪大学
基礎工学部
システム科学科

近年の人工知能ブームの根本を支える「深層学習」は、ヒントン教授率いるトロント大学にて誕生し、シリコンバレーの大企業群によって研究開発が進められており、日本はアメリカやカナダに大きく出遅れています。本留学では、トロント大学で今後の研究に向けた最新の理論を、そしてPanasonic Silicon Valley Lab では産業界への応用の最先端を学びました。単に知識を得るということにとどまらず、人工知能学会の学生編集委員に就任し日本へのフィードバックを行ったり、企業と機械学習の学習教材を共同で制作したりするなどの活動も行いました。世界で最も恵まれた環境を巡って同技術を学ぶことができましたが、その上で、自分にとって深層学習それ自体は目的にはならず、その強力な手法によって初めて実現される世界に貢献したいという思いを再認識しました。それらの知見を活かして目指すものは、人間の共感を促進する研究によって実現される、争いのない世界です。



自動車研究センターにて記念撮影

受賞の感想

どのように技術を応用できるかという発想ではなく、自分が何をしたいのかというビジョンから始めることが重要だと知ることができたのが、どんな技術を学ぶことよりも貴重な経験でした。これから先、支援いただいた皆様と日本の未来を作り上げていく、トビタテ生の一角となれたなら光栄に思います。



優良賞

イタリアのスローフード生産にみられる 自然を活用する建築の研究



正田 智樹 しょうだ ともき

理系、複合・融合系人材コース

東京工業大学大学院
理工学研究科
建築学専攻

留学先 イタリア
留学先機関 ミラノ工科大学

私は建築を学び、日本の伝統工芸の工房と窓の調査を行い、光、熱、風、水といった自然を活用する建築に興味を持っています。その調査を基に2016年3月から11か月間、イタリアのミラノに留学をし、食生産にみられる建築を調査することを決めました。現地でイタリア語を学び、生産地へ行き、インタビューや実測調査、写真撮影などを行うことで、スローフード生産にみられる自然を活用する建築を調査しました。その内容で修士論文を執筆後、現在はスローフード日本の方々と様々な活動をしております。

受賞の感想

わからないことでも飛び込んで、ダメだと思っても諦めずに自分のやりたいことを反芻し続けることが大事だと思いました。この受賞がゴールと思わず、これからも色々なことに挑戦し続けていきたいと思います。



舞台のマーケティングを変えるために



関口 由実 せきぐち ゆみ

新興国コース

一橋大学
商学部 卒

留学先 カンボジア
留学先機関 Phare, The Cambodian Circus

舞台芸術の経営に興味があった私は、今世界中から注目を集めているカンボジアのサーカス団、Phare, The Cambodian Circusでインターンを行いました。インターン中、私はアーティストに対して敬意を払うということを徹底していました。これによって皆が徐々に心を開いてくれ、入ってきた情報によって仕事に価値を生み出すことができました。この経験を通じて、舞台業界だけでなく他の仕事でも、根底にあるのは「信頼関係」と「敬意」なのだと実感しました。「敬意」は、今の社会人生活の中でも大事にしているキーワードです。

受賞の感想

カンボジアで支えて下さった方々、家族や周囲の方々への感謝の気持ちでいっぱいです。社会に出て働く中、留学中の自分を振り返る良い機会になりました。関わったサーカスの日本公演を実現させたいです。



人生最大の挑戦 ～自分なりの途上国支援の形を求めて～



立原 南美 たちはら みなみ

世界トップレベル大学等コース

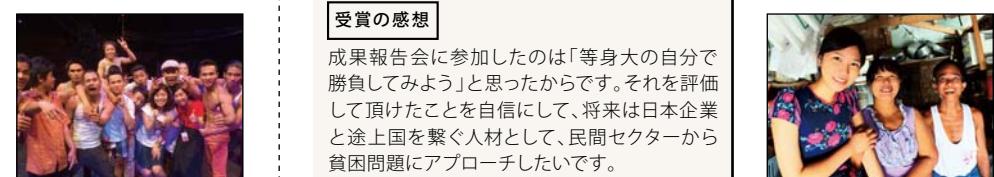
津田塾大学
学芸学部
英文学科

留学先 イギリス/ウガンダ/ミャンマー
留学先機関 サセックス大学/
リンクルージョン株式会社

1人のストリートチルドレンとの出会いから、コントロールできない属性にある人の可能性を広げたいと想い、英国サセックス大学で開発学を学びました。その後、ウガンダで社会起業家や政府機関へインタビュー調査、ミャンマーでBoPビジネスを展開するITベンチャーでインターンを経験する中で、ビジネスを通じた世界規模の課題解決を包括的に促進することが自分なりの途上国支援への関わり方であると気付きました。2030年には日本企業と途上国との架け橋として民間セクターからSDGsの達成に貢献することを誓います。

受賞の感想

成果報告会に参加したのは「等身大の自分で勝負してみよう」と思ったからです。それを評価して頂けたことを自信にして、将来は日本企業と途上国を繋ぐ人材として、民間セクターから貧困問題にアプローチしたいです。



フィリピン発! 貧困の地からカラフルビジネスで 貧困を0にする留学プロジェクト



大野 雛子 おの のひなこ

多様性人材コース

東洋大学
文学部
東洋思想文化学科

留学先 フィリピン
留学先機関 Gawad Kalinga/
GK Enchanted Farm

フィリピンで貧困層に雇用機会を創出するビジネスを学ぶべく、おもちゃの企業でインターンを行いました。ビジネスのビの字もわからなかつた私は、現地の若者たちと一緒にTシャツをつくるビジネスを立ち上げ、身をもって貧困の地で行うビジネスはどういうことかを学ぶことができました。成績も悪く、英語もできず、海外からも留学からも縁遠かつた私は、トビタテでの留学を通して、世界を舞台に「日本を代表する貧困解消の第一線で活躍する人材になりたい」という夢を持つことができました。

受賞の感想

フィリピンとの3年間の交流を受賞という形に残せるのが嬉しいです。家族とトビタテの存在は大きく、感謝しています。フィリピンや世界の貧困をなくすためにこれからも活動を続けたいと思っています。



宮崎大好きっ子が台湾へトビタッタ!



北原 春華 きたはら はるか

地域人材コース

宮崎大学
教育文化学部
人間社会課程

留学先 台湾
留学先機関 中国文化大学華語中心/
東吳大学日本語学科

宮崎県地域人材育成コースの1期生として、宮崎の魅力を台湾の人々に伝える活動を行ってきました。現地大学で開催した「宮崎・高千穂紹介展」や、3歳から続いている「空手」の授業を実施。またシェアハウスにて「チキン南蛮」をふるまいました。留学を通じて視野が広がり、様々な視点から改めて「宮崎」を見つめ直すことができました。留学を通して、何にでもチャレンジする力や、自分の意見を持ち、声をあげる大切さを学びました。

受賞の感想

トビタテを通じて、宮崎という自分のバックグラウンドを改めて見つめ直すことができました。受賞できたことが自分のエネルギーや自信になったので、もっと活発に色々なことに取り組んでいきたいと思います。



高校生コース
特別賞
代表発表者



鎌田 あみ
かまた あみ

中村学園女子高等学校



留学先 カナダ
留学先機関 Mount Douglas Secondary School

Tolerance of Diversity

カナダ・BC州のビクトリアに2か月の留学をしました。現地の公立高校に通い、地元ファミリーとホームステイで過ごしましたが、その家には、ママが2人、子供たちが3人、また私の他に中国の留学生もいました。学校では半分以上が海外からの留学生でした。パジャマで登校したり、授業で動物を扱くところを目の当たりにしたりと日本では経験できないこともあります。何もかもが初めての経験で、「多様性」の欠片に気づいた瞬間でした。それ以来、私はあらゆる場面において、自分自身や周囲にとっての「柵(しがらみ)」をなくすために尽力したい、と考えています。

集まったたくさんの高校生のレベルの高い発表を聞いて圧倒されました
が、受賞できて驚きと嬉しさでいっぱいです。この先の進路でも留学したい
と思っていて、海外の大学でも学んでみたいと思います。



講評

学生の皆さん、素晴らしい発表を拝見して、会社では得られないであろう貴重な刺激をもらいました。皆さんのように課題意識をもち、相乗的に自分の学びを加速させていくという取り組みは、トビタテ!留学JAPANのプログラムだからこそできることだと思います。理想を忘れず現実との間をチャンジマネジメントし、具体的に取り組んでいくことで、今後、最高の成果を見せていただけることを楽しみにしております。また引き続き、皆さんの後に続く後輩たちの応援も続けていきたいと思います。

東京エレクトロン 取締役常務執行役員 長久保 達也 氏



アンバサダー特別賞

地域人材コース



島根と海外を繋ぐキャッチボール

遠藤 凌 えんどう りょう 島根大学大学院 総合理工学研究科

キャッチボールというコミュニケーションツールを使って、自分の住む“Shimane”をPRしました。留学前には溝口島根県知事ともキャッチボールをする機会をいただきました。短期留学中に20名以上の方とキャッチボールしましたが、国内でも知名度の低い島根県、海外で知っている方は一人もおらず。iPadで島根県の名所や食べ物を紹介しました。気持ちが伝わったときは、これまで味わったことのない大きな喜びを感じました。



現地で行ったキャッチボールの様子



エヴァンジェリスト特別賞

多様性人材コース



Diverseas×トビタテジャーナル 留学 is everywhere for everyone な世界を実現する

洪 英高 こう ひでたか 同志社大学 経済学部

世界中の誰もがどこにでも留学できる世界を実現する。そのために正確な情報を届けたいという思いから、留学経験者から直接話を聞けるオンライン相談サービス「Diverseas」をリリースしました。ユーザー数は、約1,000人、登録メンバー数は300名を超え、留学先国数は70か国を超えるました。このサービス上で、既に200回以上の留学相談が行われています。今後もユーザー数拡大に向け、新機能の開発や企業との連携強化を図ります。



いいプロダクトをつくります



学生ブランドマネージャー エヴァンジェリスト特別賞

理系、複合・融合系人材コース



トビタテ!留学カフェin 北海道～海外経験者による留学座談会～

原田 要一 はらだ よういち 北海道大学大学院 工学院

留学にハードルを感じている大学生を対象に、留学経験者との交流の場を企画しました。SNSなど独自の広報を行い、札幌圏の5大学の教室を借りて合計23回開催、延べ人数310名が参加しました。トビタテ北海道でのコミュニティ形成に成功したのをきっかけに、パッケージ化による他地域への派生にも取り組みました。今後は民間企業や自治体・メディア等との連携を強化していきたいです。



留学計画を考えるワークショップ

大学関係者の声

高山 靖子 氏 芝浦工業大学 国際部

アウェイの環境に飛び込み、トライアンドエラーを繰り返して見えてくる風景というが、聞いていて楽しく刺激を受けました。一人ひとりにドラマがあり、大学関係者としてより多くの学生にそうした経験をさせてあげたいという思いを強くしました。帰国した学生達は後輩たちに経験を伝え、より一層活動を活発化させていってほしいです。



小松 謙一郎 氏 東京外国语大学 留学支援共同利用センター

実践活動を通して価値観の変わらるような経験をし、新しい物の見方・考え方を得られるのがトビタテのいいところだと感じました。留学前後の研修で、留学の目的を明確にし、留学中に経験したことを言葉にして振り返ることも学生にとって重要です。今後も世界を舞台に活躍できる強い意欲のある学生を支援していっていただきたい。



地域協議会の声

松田 英生 氏 熊本県 企画振興部企画課

発表を見て、元気をもらいました。みなさん色々な発見をして、非常にバイタリティに溢れている。飛び立つ前と後では一回りも二回りも成長していて、特に積極性が身に付いていると感じました。今後は、グローバル人材として地域の活性化に貢献していくだき、ひいては日本を元気にしていってほしいと思います。



塙原 佑子 氏 奈良市教育委員会事務局

皆、何かしらの失敗や挫折を味わっていて、これからの中学生たちにも「失敗してもいいから、挑戦しよう」と言ってあげたいと思います。各地域の学生が、それぞれの地域のために活動していることが地域人材コースの醍醐味です。今後もさらに仲間が増えていくことを期待しています。



支援企業・団体の声

田中 直樹 氏 セイコーエプソン 人事部

発表した学生たちは、高い目標を掲げて留学し、確実に成果を挙げていると感じました。選考面接も担当しましたが、その時より今の方が大きく成長している。トビタテの学生たちは、自分から何かしようという意志を持ってつき進める、グローバルに活躍できる人材だと思います。企業としてもこの活動に大いに期待しています。



山本 諭 氏 レオパレス21 人事部

学ぶ意欲が高い学生、学んだことを咀嚼して次に活かそうという資質を持った学生が非常に多く見られました。国境を超えたビジネスが一層加速する今後の外部環境を考えると、グローバル人材の育成が重要であると痛感しています。こうした学生たちが経済界に出てきたときに受け皿となる環境を、我々も作っていきたいです。



大西 巧規 氏 ジェイティービー グループ本社人事部

学生の皆様が感受性豊かに、留学中に学んだことを「気付き」や「学び」という言葉に換えて発表しているのが印象的でした。対人コミュニケーション能力が高く、引き続き社会でも活躍していくのではなかろうか。皆外に飛び出そうという前向きな気持ちが強く、「トビタテ留学」というコンセプトが成功していると感じました。



【報告会に参加いただいた支援企業・団体】

アルー、出光興産、ANAホールディングス、河合塾、公文教育研究会、KDDI、国際ビジネスコミュニケーション協会、コニカミノルタ、さなる、島津製作所、信金中央金庫、ジェイティービー、住友重機械工業、住友林業、セイコーエプソン、ソニー、ソフトバンクモバイル、中外製薬、ディー・サイン、東急不動産ホールディングス、東京エレクトロン、東京海上日動火災保険、東芝、TOTO、トヨタ自動車、豊田通商、トラストバンク、ナガセ、ニコン、日本アイ・ビー・エム、日本経済新聞社、日本貿易会、日立製作所、ビズリーチ、ファンケル、富士通、ネッセセコーポレーション、三越伊勢丹、三菱商事、三菱東京UFJ銀行、ヤクルト本社、UACJ、ユーグレナ、リクルートキャリア、レオパレス21、早稻田アカデミー、大分県地域グローバル人材育成・定着協議会、沖縄産学官協働人材育成円卓会議、香川地域人材育成コース協議会、熊本地域グローバル人材育成事業実施協議会、さが地方創生人材育成・活用推進協議会、島根県グローバル人材育成事業実施協議会、公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム、大学コンソーシアムとちぎ、徳島県地域グローバル人材育成事業実施協議会、奈良市留学コンソーシアム、福島浜通りグローバル人材育成事業推進協議会、みやざきグローバル人材育成協議会、独立行政法人国立高等専門学校機構（敬称略）

●【主催者側参加者】●

文部科学省

文部科学大臣 林 芳正
文部科学大臣政務官 宮川 典子
事務次官 戸谷 一夫
官房長 藤原 誠

初等中等教育局

高等教育局長 義本 博司
私学部長 村田 善則
サイバーセキュリティ・政策評価審議官 藤野 公之
審議官(初等中等教育局担当) 下間 康行

審議官(高等教育局担当)

高橋 道和
義本 博司
立行政法人日本学生支援機構
理事長 遠藤 勝裕
理事長代理 大木 高仁